

週間市場レポート

(2019年8月5日～8月9日)

(1) 日本の株式・債券市場

株式市場の動き

■ 日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で下落となりました。米中貿易摩擦の激化による世界的な景気減速懸念がくすぶる中、企業業績の下振れ警戒感の高まり等により前週から4日続落し、7日（水）はおよそ3ヵ月ぶりの安値をつけました。その後は、米株高や市場予想を上回る4～6月期の国内総生産の速報値等を受け上昇したものの、週間では前週末比で下落となりました（週末引け値：20,684.82円）。

■ 週間では、日経平均株価は1.91%の下落、東証株価指数は1.93%の下落となりました。

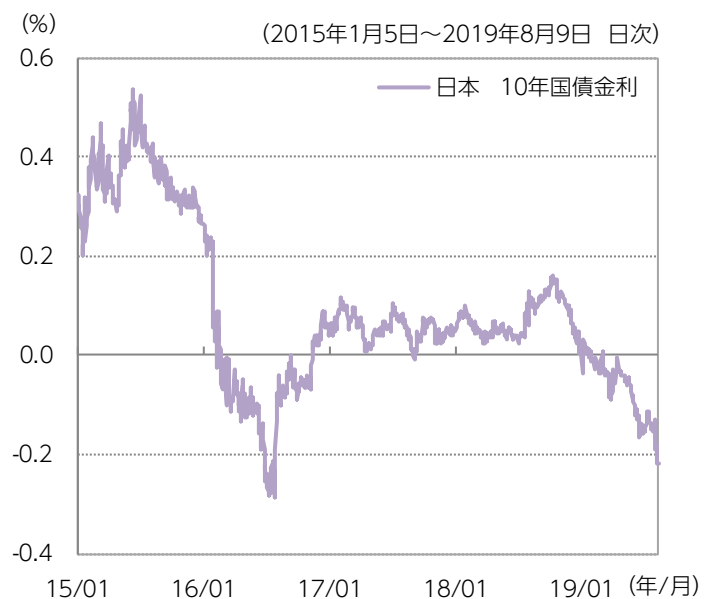


出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

債券市場の動き

■ 日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で低下となりました。米中貿易摩擦をめぐる懸念が再燃したこと等から、週間を通じて相対的に安全資産とされる国内債券は買いが優勢となり（利回りは低下）、日本銀行の金利誘導目標の下限（-0.2%程度）を下回って週の取引を終えました（週末引け値：-0.217%）。

■ 週間では、0.054%の低下となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(2) 米国の株式市場

市場の動き

- 米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で下落となりました。中国政府が国営企業に対し、米国産農産物の輸入停止を要請したとの報道を受け、米中貿易摩擦の激化懸念の高まり等から週初は前週末比で大幅に下落しました。中国人民銀行が人民元対ドル基準値を予想よりも元高に設定したことが市場において安心材料と捉えられ、上昇する場面もあったものの、週末は米中通商協議の中止懸念等から小幅に下落しました（週末引け値：26,287.44ドル）。
- 週間ではNYダウは0.75%の下落となりました。

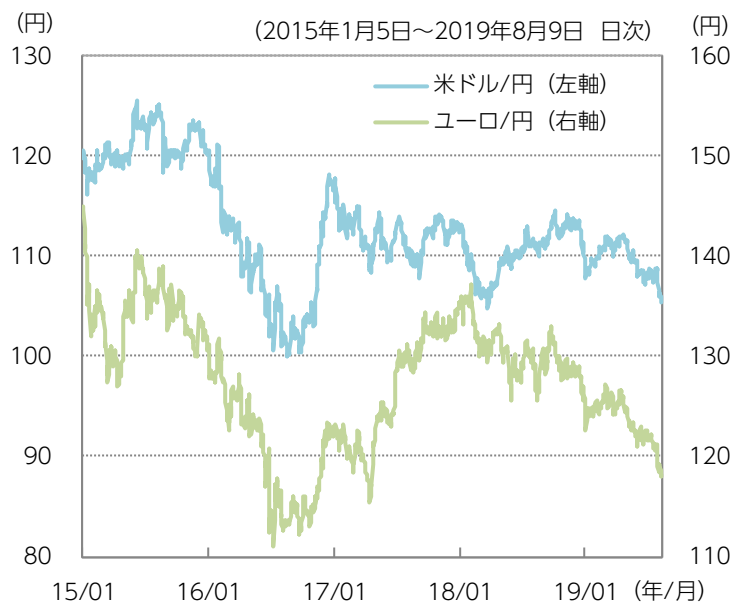


出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(3) 外国為替市場

市場の動き

- 米ドル/円相場は、前週末比で円高米ドル安となりました。週初は、世界的なリスク回避姿勢の高まりから、円買い米ドル売りが優勢となりました。6日（火）に中国人民銀行が設定した人民元対ドル基準値が予想ほど元安の水準ではなかったと市場で受け止められ、円安米ドル高となったものの、週末は米中貿易摩擦の激化懸念等から円買い米ドル売りが優勢となりました（週末引け値：105円60銭～70銭）。
- 週間では米ドル/円は0.84%の円高、ユーロ/円は0.01%の円高となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>